

平成28年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める「ファミリーキャンプ⑥」

1 趣 旨 自然体験活動を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。

2 期 日 平成28年12月10日（土）～11日（日） 1泊2日

3 対 象 者 キャンプや自然体験に興味のある家族

4 募集定員 12家族（50人程度）

5 参加者 16家族，48人（応募者：22家族，70人）

6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア2人

7 日程と主な活動



時 刻	12月10日（土）	時刻	12月11日（日）
15:00	テント泊受付（太陽の家）	6:00	起床・部屋の整理・テント撤収
15:30	テント設営	7:00	朝のつどい
16:40	本館泊受付（本館）	7:20	退所点検
17:00	出合いのつどい	8:00	朝食（レストラン）
17:30	入浴	9:10	創作活動 『マツボックリクリスマスツリー』 『ミニ門松』
18:30	夕食（レストラン）	11:00	アンケート記入
19:30	スターウォッチング 講師：国立大隅青少年自然の家 次長 川田博史	11:10	別れのつどい
22:00	就寝（本館宿泊棟・テント泊）	11:30	解散

8 事業運営について

本事業は、親子のふれあいや家族相互の交流ができるように、季節に応じた自然体験や創作活動を位置付けてプログラムを計画した。

- (1) 「冬の星座」に関する講話と星座観察を通して、天体に関する興味・関心を高め、親子で自然体験活動ができるようにした。
- (2) テント設営・テント宿泊の活動やクラフト活動などのグループ活動を通して、家族間の絆を深めたり、家族相互の交流を図ったりできるようにした。



9 事業の実際

(1) テント設営

太陽の家で受付後、テント宿泊を希望された家族毎に設営を行った。親子や子供同士で協力して楽しく活動することができていた。また、早く終わった家族は、設営途中の家族の手伝いを進んで行い、家族相互の協力も見



られた。

(2) 講話「冬の星座の学習」

講話は、当施設の川田博史次長に「冬の星座の学習」というテーマで話をしていただいた。冬の星座の見つけ方やふたご座流星群について、資料を提示しながら分かりやすく説明していただいた。参加者も熱心に話を聞く姿が見られ、天体に関する興味・関心を高めることができた。

(3) 天体観察

天候も良く、充実した星空観察ができた。冬の星座や冬の冬の大三角、冬のダイヤモンド、プレアデス星団、オリオン大星雲など多くの星座や星の観察ができた。ふたご座流星群の極大日ではなかったが、流れ星も2~3個確認できた。また、天体望遠鏡で月のクレーターも観察した。望遠鏡で見える月の大きさに感激の声が上がった。

(4) 創作活動

創作活動では、季節的に大きなマツブクリを使用したクリスマスツリーとミニ門松から好きな方を選んで作成してもらった。親子でいっしょに活動する姿や家族間で協力しながら竹を切ったり、飾り付けをしたりする姿が見られた。どの家族もできあがった作品にとっても満足した様子だった。

10 参加者の感想

- 冬のテント泊、冬の寒さを満喫しました。今後もいろいろなイベントに参加したいと思います。
- 子どもはもちろん、親でも新しい発見、体験ができて楽しい時間を過ごすことができました。
- 天体観察やミニ門松作りなど、とても貴重な体験ができて大満足です。

11 成果

- 参加した家族は、今回実施した自然体験活動（テント泊や星空観察）、創作活動、生活体験などの体験活動を通して、家族の絆を深めたり、参加者相互の交流を図ったりすることができた。
- 天体に関する専門的な知識を、映像等を使って分かりやすく説明したり、実際に天体観測の指導を直接したりしたことで、宇宙への興味・感心を高めることができた。
- 冬でもテント泊の体験活動の機会を設定したことで、より多くの方に楽しんでもらうことができた。

